お客さまへ

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止
- 器具の改造や指定部品以外の交換はしない。（火災・感電・落下の原因）
- 器具やランプを布や紙などで覆わない。（可燃物をかぶせて使うと火災の原因）

禁止
- 器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。（火災・感電の原因）
- ガラスカバーを外したり、ガラスが破損したまま使わない。（けがの原因）

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止
- お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士などの資格が必要です。（火災・感電の原因）
- ランプに塗料などを塗らない。（ランプが過熱・破損してけがの原因）
- 点灯中のランプから近距離の所で長時間の作業をしたり、ランプを直視しない。（皮膚炎症や高輝度のため目を痛める原因）
- 器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。（過熱して火災の原因）
- 器具表示の指定ワット（W）数を超えるランプは使用しない。（過熱して火災の原因）

禁止
- ランプは直接素手で触れない。（汚れたまま点灯すると破損してけがの原因）
- ランプは落としたり、（物を）ぶつけたり、無理な力を加えない。（ランプが破損してけがの原因）

厳守
- ランプの外管バルブが割れた場合、直ちに電源を切り、ランプを交換する。（紫外線による障害や、破損・落下によりけがの原因）
- 明るく安全にご使用いただくために半年に１回の保守・点検を行なう。
- ランプが点滅を繰り返したり正常に点灯しない場合、直ちに電源を切り、ランプを交換する。（火災の原因）

ランプ交換・器具の清掃

⚠警告 電源スイッチを切ってから行なう。（感電の原因）

グレード			耐塩形	耐塩・耐食形	重耐塩・耐食形
環境条件	腐食環境	海岸地帯	ー	○	◎
		重工業地帯	○	◎	◎
	一般環境	都市・軽工業地帯	◎	◎	○
		田園・郊外地帯	◎	○	○
適合ランプ	180W ～ 400W	H (F) 200~400 M (F) 250~400 BHF200/220V 250~300W NH180~360 (F)	HS327	HSC327	HSS327
	400W	H200~400 M250~400 NH180~360	HS327B	HSC327B	HSS327B
	660W ～ 1KW	H (F) 700~1000 M (F) 700~1000 BHF200/220V 750W NH660~940 (F)	HS1084	HSC1084	HSS1084
	1KW	H700~1000 M700~1000 NH660~940	HS1084B	HSC1084B	HSS1084B

◎は最適使用環境、○は適当、ーはおすすめできない環境を示します。

⚠注意
- ○点灯中及び消灯直後のランプや器具には触れない。（高温のためやけどの原因）
- ○ランプはソケットに確実に取付ける。（不完全な取付けは落下の原因）

⚠警告
器具内面・ランプを水洗いしない。（火災・感電の原因）

清掃
- ○ランプ・プラスチックや金属部分の汚れは、柔らかい布にぬるま湯または石けん水をつけてよく絞ってふきとってください。
- ○反射板の汚れは、柔らかい布でふきとってください。

異常時の処置

⚠警告
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合は、すぐに電源スイッチを切る。（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

連絡先

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社

〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船２－１４－４０
TEL（0467）41－2729（営業統括部）
TEL（0467）41－2773（品質保証部サービス課）

（NP7592）

MITSUBISHI

E766Z831H51

三菱ＨＩＤ器具

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

保管用

屋外投光器

形名	公共施設形名	公共施設適合ランプ	形名	公共施設形名	公共施設適合ランプ
ＨＳ３２７	HPJ1N−180~400 (CML、M、NH) HPJ1W−180~400 (CML、M、NH)	M250~400, NH180~360 MF250~400, NH180F~360F	ＨＳ３２７Ｂ	HPJ1M−180~400 (CML、M、NH)	M250~400, NH180~360
ＨＳＣ３２７			ＨＳＣ３２７Ｂ		
ＨＳＳ３２７			ＨＳＳ３２７Ｂ		
ＨＳ１０８４	HPJ1N−660~1K (M、NH) HPJ1W−660~1K (M、NH)	M700~1000, NH660~940 MF700~1000, NH660F~940F	ＨＳ１０８４Ｂ	HPJ1M−660~1K (M、NH)	M700~1000, NH660~940
ＨＳＣ１０８４			ＨＳＣ１０８４Ｂ		
ＨＳＳ１０８４			ＨＳＳ１０８４Ｂ		

取扱説明書

施工者さまへ

- ○施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
- ○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。
- 🚫 絶対に行わないでください。
- ❗ 必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止
- 引火する危険のある雰囲気で使わない。（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない。）（火災の原因）
- 器具の照射面は高温のため近接限度内に可燃物を近づけない。（火災の原因）
- 電源線は器具の外郭に直接触れない。（過熱して火災の原因）
- 器具取付けの際は電源線を挟まない。（絶縁不良により感電・火災の原因）

禁止
- 安定器の二次側を器具に接続しないまま電源を入れない。（電線が焼損し火災の原因）

厳守
- 施工は電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。
- 取付方向指示のある器具は、本体表示及び取扱説明書に従い施工する。（指定以外の取付けは、器具の落下・感電の原因）
- アース工事は、電気設備の技術基準に従い行う。（感電・火災の原因）

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止
- 高温（３５℃以上）、粉じん、油煙の多い場所、強い振動のある場所で使わない。（落下・感電の原因）
- さびの出やすい場所、腐食性ガスの出る場所で使わない。（劣化による落下の原因）
- 風呂場など湿気の多い場所で使わない。（火災・感電の原因）
- 器具を密集して取付けない。（１０㎝以上離す）（器具の温度が高くなり火災の原因）
- 狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。（器具が過熱して火災の原因）

禁止
- 器具の外郭が造営材・ダクトに触れない。（火災・感電の原因）
- 表示された電源電圧以外では使わない。（火災・感電の原因）

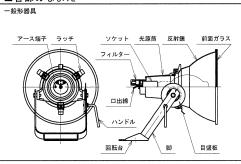
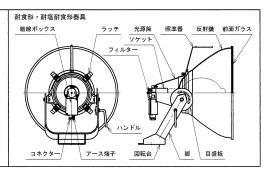
厳守
- 使用地域の周波数に合った器具を使う。（火災の原因）
- 電源タップ付安定器の不要口出線の先端は一本毎に確実に端末処理する。（火災の原因）
- 定格ランプ電力（W）、電源電圧（V）、周波数（Hz）に適合した安定器を使う。（火災の原因）

お願い

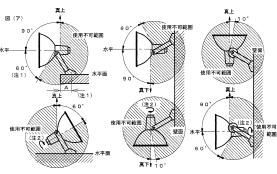
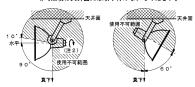
- ■器具の周辺温度が５～３５℃の範囲で使用してください。
- ■植物のそばで使用しないでください。（植物育成障害となることがあります。）
- ■退色を避けたい場所には使用しないでください。（被照射物が紫外線により退色、劣化することがあります。）

■各部のなまえ

一般形器具

耐食形・耐塩耐食形器具

■器具の取付方向と可動範囲

① 回転板に振向角度が表示されているのは水平面取り付け図（ア）の範囲です。取付方向によっては角度表示のない場合や表示があっても振向は不可の場合があります。
② 使用するランプの点灯可能方向によっても振向角度の制限がでてきます。

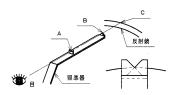
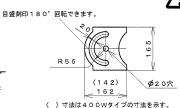
■ 水平面：下の条件で使用できます。　■ 壁面：下の条件で使用できます。　■ 天井面：下の条件で使用できます。但し器具上部は高温となりますので、ビニールクロスなどの壁装材処理や、木材等可燃物の天井面には取り付けないでください。

〔注１〕水平面取付で下向き使用の場合取付部の出巾Ａ＝１００㎜以下で取付てください。
〔注２〕フィルターの通気孔が下向きになるように光源筒を回転させて取付てください。

注意

■器具の取り付けかた

① 回転台に取付穴が右図のように設けてあります。適用ボルト（Ｍ１６×２本）でゆるみのないよう平座金，バネ座金を入れて締め付けてください。取り付けに不備がありますと落下の原因となります。
② 目的の方向に器具を調整して、ボルトとハンドルをしっかり締め付けてください。
照射方向の調整は回転台、目盛板の刻印に照射角度を合わせてください。
照準器による照射方向の調整は下図のようにＡ、Ｂ、Ｃ３点で合わせてください。
照準器は耐食形・耐塩耐食形のみについています。

取り付け

（　）寸法は４００Ｗタイプの寸法を示す。

■ランプ交換のしかた

① 必ず電源を切ってから行なってください。
② ラッチをはずし、光源筒を開けます。
③ ランプをまわしてはずします。
④ 交換するランプを確実にねじ込みます。ねじ込みが不十分ですとランプ不点の原因となります。
⑤ 光源筒をラッチ（３ヶ又は４ヶ所）で締め付けてください。
締め付けに不備がありますと、水、水気の侵入により絶縁不良、感電の原因となります。

ランプ交換

■電線の接続のしかた

一般形器具

① 器具の口出線は２０㎝～３０㎝です。安定器の二次側電線を器具の口出線に結線してください。
結線箇所はテーピングなどで、しっかり防水、絶縁処理を行ってください。
② アース端子を利用して接地してください。

口出線の結線が不完全な場合には、絶縁不良による発熱、火災の原因となります。

配線工事

アース線の結線が不完全な場合には、感電の原因となります。

アース工事

③ 接続した電源線はゆれないように必ず保持してください。この場合ランプ交換のためにケーブルに余裕をもたせてください。
（注）安定器二次側配電線を送り配線には出来ません。
（注）安定器二次側配電線は６００Ｖ架橋ポリエチレン絶縁ポリエチレンシースケーブル（ＣＶ）と同等以上の性能を有するケーブルをご使用ください。

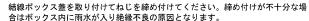
耐食形・耐塩耐食形器具

① ねじをゆるめて結線ボックス蓋をはずしてください。
② 安定器二次側配電線（外径φ１０．５～φ１４．５）の外装シースを１０～１５mmむき、コネクターをゆるめて結線ボックス内に挿入した後、コード押えで固定してください。
③ コネクターをしっかりと締め付けてください。
④ 安定器二次配電線と結線ボックス内の口出線とを結線してください。
結線箇所はテーピングなどで、しっかり絶縁処理を行ってください。
⑤ アース端子を利用して接地してください。（アース端子は結線ボックス内外に２ヶ所あります。３芯ケーブルをご使用の場合は結線ボックス内のアース端子に配線してください。）

口出線の結線が不完全な場合には、絶縁不良による発熱、火災の原因となります。

配線工事

アース線の結線が不完全な場合には、感電の原因となります。

アース工事

⑥ 結線ボックス蓋を取り付けてねじを締め付けてください。締め付けが不十分な場合はボックス内に雨水が入り絶縁不良の原因となります。
⑦ 接続した安定器二次側配電線はゆれないように必ず保持してください。この場合ランプ交換のために余裕をもたせてください。
（注）電源線の他にアース線を用いる場合は、ボックス外部のアース端子をご使用ください。
（注）安定器二次側配電線を送り配線には出来ません。
（注）安定器二次側配電線は６００Ｖ架橋ポリエチレン絶縁ポリエチレンシースケーブル（ＣＶ）と同等以上の性能を有するケーブルをご使用ください。又、平行ケーブルは用いないでください。コネクター部の防水が不十分となり、絶縁不良の原因となります。

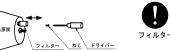
口出線
ねじ
結線ボックス蓋
コード押え
アース端子
コネクター
安定器二次側電線
適合仕上径：φ１０。５～φ１４。５

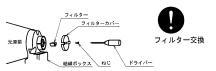
■フィルター交換のしかた

● フィルターは長期間使用すると性能が低下しますので、一般の雰囲気では３年、汚れの激しい工業地帯や海岸地帯では１年に１度の交換が必要です。フィルターはユニット化されていますので容易に交換できます。

一般形器具

① フィルターを取り付けているネジ２本を外してフィルターを光源筒からはずしてください。
② 新しいフィルターをネジ２本で光源筒に取り付けてください。
（注）取り付は上下方向を確認の上、逆に取り付ないよう注意してください。

フィルター交換

耐食形・耐塩耐食形器具

① フィルターカバーのねじをはずして、結線ボックスからはずしてください。
② フィルターを結線ボックスよりはずし、新しいフィルターを取り付けてください。
③ 外したフィルターカバーを結線ボックスにネジで取り付けてください。

■お手入れのしかた

●器具お手入れの際は、必ず電源スイッチを切ってください。消灯直後は器具やランプが高温となっていますので、しばらく（２０分～３０分程度）時間をおいてからお手入れを行ってください。
●ホースなどで直接器具に水をかけないでください。また、モップやデッキブラシなどを用いた清掃を行わないでくだい。器具内への浸水や器具の破損の原因となります。
●ランプや反射鏡内面は、乾いたやわらかい布で拭いてください。ランプはソケットから外して清掃してください。
●器具の外面の汚れは、やわらかい布を水に浸し、よくしぼってからふきとってください。